

「地域の多様な家族が孤立しないために私たちができること」

ひきこもる若者/オトナと家族 の困りごと

～いわゆる「8050問題」を考える～

ゲストスピーカー：池上正樹さん

(NPO法人KHJ全国ひきこもり家族会連合会理事/ジャーナリスト)

地域には多様な家族が暮らしを営んでいます。
社会参加しづらい状況にある若者/オトナとそのご家族が、
孤立することなく、その人らしく生きられる地域社会であるために、
私たちができることを考えたいと思います。

*「8050問題」とは、80代の親が50代の子どもの生活を支えるという問題。
背景には子どもの「ひきこもり」の長期高齢化があるといわれています。
(参考：NHKハートネット)

本学習会は社会的孤立を生まない地域をめざし実践するみなさんの
学びの場として、また、つながりを広げる場として開催します。
お気軽にご参加ください。



日時：

2019年7月10日(水)18:30～20:30

会場：明治学院大学白金キャンパス

(最寄駅：白金高輪駅・白金台駅・高輪台駅)

対象：多様な他者や家族への理解を深めたい方
その支援に関心ある方

定員：50名(先着順)

保育サービス：先着順に受付(締切：7月1日(月)正午)

手話通訳：7月5日(金)までにお申込みください。

<申込先・詳細>

明治学院大学社会学部附属研究所

〒108-8636港区白金台1-2-37 TEL&FAX03-5421-5205

Eメール issw@soc.meijigakuin.ac.jp

協力：港区生活福祉調整課

<池上正樹さんプロフィール>

通信社などの勤務を経てジャーナリスト。日本文藝家協会会員。

『ルポ ひきこもり未満』『ひきこもる女性たち』『大人のひきこもり』『痴漢「冤罪裁判」』『あのとき、大川小学校で何が起きたのか』(共著)『石巻市立大川小学校「事故検証委員会」を検証する』(共著)など著書多数。ダイヤモンド・オンラインで『「引きこもり」するオトナたち』を連載中。対話の場「IORI」設立メンバー。東京都町田市「ひきこもり」部会委員なども務める。